

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2002/12/30 Vol. 118 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX
45-8362

E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 14 年第 4 回定例会報告 (3)

いつもお世話になっております。印西市議会(12月定例会)は、12月20日(金曜日)にて、一般会計補正予算案、職員および市長、教育長ら特別職の給与や出張日当を削減するための条例改正など27議案を可決して、閉会しました。

今回も、前回に引き続き12月議会での私の「住宅施策」についての一般質問をとりあげたいと思います。私の質問と執行部の答弁より、印西市の住宅施策を考えていただく契機にさせていただければと思います。

12/4(水曜日)に、代表質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

2. 住宅施策の基本理念について (続き)

近年の住民や住環境をとりまく環境は、社会、経済の変化のなか、大きく変わろうとしている。住宅は私達が生活を送るうえでの基盤であり、安心して住み続けていくために重要な要素であると考えます。印西市ではどのような住宅政策を掲げ、目指すべき将来像はどのようなものか。

(3) 消費者の需要に対応した住情報提供について、どのような施策があるのか

(回答/市長) 住宅建設資金利子補給事業、高齢者円滑入居賃貸住宅関係、県営住宅募集案内及び住宅相談などの住情報につきましては、市のホームページ、広報紙及び窓口において提供しております。また、マンション関係のセミナーや相談会など、県等が相談窓口になっているものにつきましても、その周知に努めております。

ぐんじとしのりより >> 消費者の需要に対応した住情報提供については、以下の3点が必要だと考えます。

- * 消費者の需要に対応した住情報提供の環境整備
- * 消費者が住宅を適切に選択・判断できる多様な情報提供
- * 住宅相談窓口の活用を促進させる体制整備

今回の回答ではこれらに触れることなく、単純にホームページや広報紙、「窓口で情報を提供する。」ということが回答されましたので、どこの窓口にいけばいいのか、再質問中に聞いたところ、「都市計画課」と「介護福祉課」で対応するとのことでした。

しかし、例えば、以下のような相談がある場合にはどこにいけばいいのでしょうか？

- 分譲マンションの「大規模修繕」に関して相談にこられたらどうする？
- 住宅についての融資について知りたい。高齢者のためのバリアフリーを行いたい。
- 集会所の補修が必要だがどうしたらよいか？
- 他の団地の大規模修繕の事例を紹介して欲しい。 等々

これらについて、市民が相談に行く場合、一つの窓口では対応できず、複数の窓口がいかなくてもならない。これが印西市の現状です。私は、住宅問題をまとめて取り扱う部署の設置、例えば「住宅課」を求めています。昨年9月の議会での一般質問*で、私は「住宅問題をまとめて取り扱う部門の設置(例えば、住宅課、住宅政策課)は必要ではないか？」と問いかけました。当時の助役は「将来的な問題として認識している。今後の研究課題としている。」このように答弁されましたが、現状は昨年と変化していません。千葉ニュータウンを抱えているこの印西市が

1年経過しても、「研究課題」それでいいのか？ 皆様はどのようにお考えになりますか？

(補足) / 「住宅課」について・・・名称はともあれ、ニュータウンを抱える多くの街では、「(住宅問題を一手に集めて、扱う) 担当部門」が設置されています。

< ぐんじとしのりから市への 再質問 >

印西市の集合住宅には、約 600 棟、約 30000 人が居住している。

つまり、「市の人口の約半分が集合住宅に住んでいる。」といえる。

集合住宅に住む居住者への施策もあってしかるべきではないのだろうか。

- 集合住宅は防火や限られた土地の活用、省資源に適しています。従って、良好な住宅ストックとして維持することは、計画的な街づくりや資源の浪費を防ぐ点から(集合住宅という住まいの形態を大切に)行政が支援すべきではないかと私は考えます。

以下の3点について、印西市の見解を求めます。

1) 耐震性診断や防災改修への支援をすべきでないか？

2) 大規模修繕やリフォームへの支援をすべきではないか？

3) 公共的部分(ゴミ置場、プレイロット等共用部分)の固定資産税の減免をすべきではないか？

(回答/都市建設部長) 1) 2) 情報収集をし、今後につなげて行きたい。

(回答/総務部長) 3) 公共的部分の固定資産税の減免は既に行っております。

ぐんじとしのりより >> 安心して住みつづけることのできる印西市であるためには、私は、現状の認識、課題の整理があって、基本目標を設定し、その目標を実現する為の基本方針、基本政策を考えて行く必要があると思います。それが住宅施策であり、住宅マスタープランです。

どうしても、今、始めなくてはならない、今考えなければならぬ未来があります。

大阪の千里ニュータウン、そして高齢化が進みいく多摩ニュータウンの現状をご存知でしょうか？千里ニュータウンでは「再生を考える市民100人委員会」があります。そのときになって考えればいいかもしれませんが、私は見えている明日に対しては基本政策をつくるべきだと思います。是非とも、北総の中心都市印西として、住宅課を創設し、住宅マスタープランを市民に、そして、近隣市町村に示して欲しいと思います。

議案審議とその結果(1)

平成14年度印西市一般会計予算補正予算

(結果/可決)

前回の9月議会で問題となった 以下の「債務負担行為」も含まれます。

「西の原中学校(増築)設計委託費用(校舎)」/都市基盤整備公団分

(解説) 今回も、NT地区の小中学校の公共施設整備に関して、「県企業庁や都市基盤整備公団が支払ってきた負担金が、印西市に求められるのではなからうか？」といった疑問が多くの議員から投げかけられました。今回はもともと、「西の原中学校」の増築及びその金額が問題となったわけではありませぬので、賛成多数でこの議案は可決されました。(私は前回は「賛成しました。’)この結果、中学校の設計委託が始まり、来年度着工、再来年度に竣工というスケジュールが動き始めることとなります。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。本年もご支援いただき、心より感謝致します。皆様、よき年末、年始をお迎え下さい。(公職選挙法の規定により、私から、年賀の挨拶状は答礼を除き、お送りできませんので、ご了解ください。)

次号は新年発行の予定です。「市町村合併への視点」について、12月議会での私からの代表質問、市執行部からの回答、「印西市議会 合併問題特別委員会」の現況、その他を何回かにわけて、ご報告させていただきます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と一緒に考えていきたいと思っております。重ねて本年はどうもありがとうございました。

来年もよろしく願い申し上げます。

ぐんじとしのり